

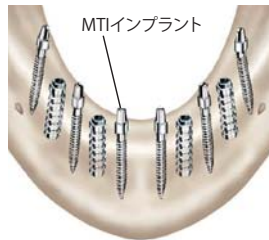
WHOのレポートによれば、60歳以上の人口は2030年には2000年の2倍になると言われており、人口動態変化において高齢者の増加が顕著である。これは歯科治療においてリスクファクター、内科疾患、また患者欠損歯牙の割合が多くなり、口腔インプラント治療においては骨質の低下、骨量の減少、ステージドアプローチによる造成のケースが頻出すると考えられている。そういった中、インプラントにおいて外科的侵襲度の低い、患者満足度の高い治療オプションを備えた技術が求められるのは当然のことである。

欠損補綴治療において、骨質などの問題でインプラント即時埋入、即時負荷が不可能な場合は多くある。そういったケースにおいて筆者は「MTIインプラント」(インプラテックス社)を主に用いている。このMTIインプラントの特徴はシンプルな埋入で強固な固定を得ることができ、直接暫間補綴を行うことが可能な点である。他メーカーと比較しても傾斜埋入等も可能であり汎用性は非常に高い。

今回、MTIインプラントシステムを用いた自身の日常臨床をご供覧頂きたい。テンポラリーインプラントがテーマであるため、あえてレントゲン写真を多用した。

＜MTIインプラントの利点＞

- シンプルな埋入術式で強固な固定
- 3種類の長さから選択可能
- 直接セメント固定が可能
- ベンディングすることで傾斜埋入可能
- フラップレスで埋入可能



Case1:インプラント埋入後即時荷重できないケース

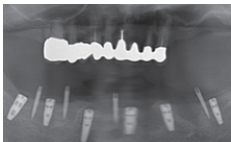
＜初診時＞

骨質、骨量や全身疾患の問題で、インプラントの初期固定が悪く、即時負荷させにくいケースで、MTIインプラントの適応であった。



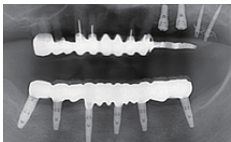
＜下顎インプラント埋入手術時＞

免荷期間中に固定性の暫間補綴で過ごしたいという希望もあり、そこで抜歯後6本のインプラントを埋入、さらにインプラント間に4本のMTIインプラントを埋入した。そのMTIインプラントに対して暫間補綴物をセットした。



＜上顎洞拳上術時＞

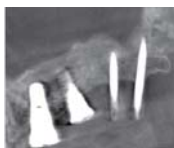
下顎最終補綴後、上顎臼歯部についても同様の希望があり、上顎洞底拳上術と同時にインプラント埋入を行った。臼歯部は既存骨が3mm程度であったため、本ケースについては上顎結節に2本のMTIインプラントを埋入し、暫間補綴は前方の天然歯と連結固定した。



＜上顎結節部＞



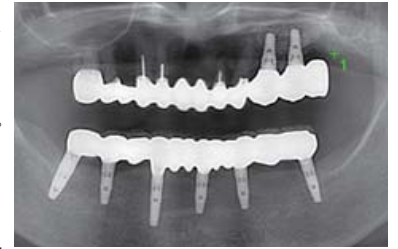
比較的骨質の硬いところを選択して埋入するべきである。



骨質の悪い部位に埋入せざるを得ない場合は複数本インプラント埋入を行う。

＜最終補綴終了時＞

治療期間を通じて常に固定性の補綴物を付与できたことは、患者の希望を叶え、術者にとっても1次、2次手術ステップ時の粘膜面の管理を行う上でも有効であり、患者術者双方にとって非常にメリットは大きいと言える。



Case2:緊急時に埋入するようなケース

日常臨床において重篤な歯周病罹患ケースでは、抜歯後に抜歯窩だけでなく骨欠損も大きく即時埋入できないことや、骨質の悪さから即時負荷できない、また骨造成のため抜歯後粘膜の治癒を待たねばならないケースに多く遭遇する。そういったケースに、抜歯によりいきなり可撤性デンチャーを装着せざるをえないことも多い。しかし、十分な術前の診査診断のもとMTIインプラントを用いることで、継続して固定性暫間補綴物を使用することができるようになる。そういった治療オプションを患者に与えることは、患者が治療選択を考慮する時間の担保にもなり、それはまたインプラント治療の優位性を患者が認識することができる重要な過程でもある。必ずや歯科インプラント治療におけるQOLの向上にも寄与するはずである。

＜初診時＞

本患者は下顎ブリッジの動揺を主訴に来院したが、保存可能な支台歯がなく残念ながら初診時に下顎は無歯顎となった。



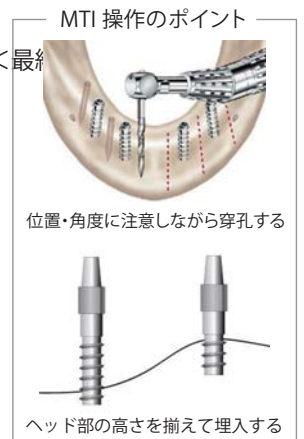
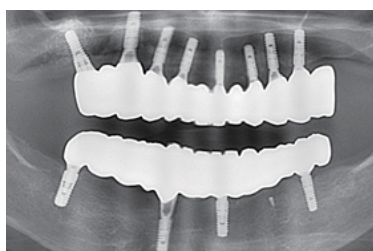
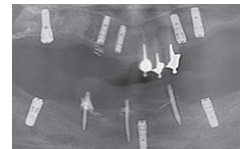
＜初診時抜歯後テンポラリーインプラント埋入時＞

抜歯後即時義歯を提案したが受け入れられず、治療オプションも様々相談したうえで、即日にMTIインプラントを3本埋入し同時に暫間補綴を製作した。しかしながら患者にとって最終的にインプラント補綴を行うことは経済的にも心理的にも不安があった。そこで、歯周初期治療を行ったうえで、改めて治療方針を決定することで同意を得た。



＜下顎インプラント埋入時＞

患者は悩んだうえ、全顎的にインプラント治療を選択した。全顎的に抜歯や骨造成等、段階的な手術手技が必要であり、その際にもMTIインプラントが有効に機能できたと考えられる。



＜最終＞

MTI 操作のポイント

位置・角度に注意しながら穿孔する

ヘッド部の高さを揃えて埋入する